

第 83 回理事会議事録

1. 日 時：2022 年 10 月 28 日（金）18 時 30 分～20 時 00 分
2. 議決方法：オンライン会議システム Zoom を使用した
3. 議事参加者：【理事 11 名】 鳩山勝郎、浅越琴美、伊藤直彦、久保公人、齋藤陽子、寺本直志、橋本公二、古川京司、柳澤彰子、山田和彦、吉田正
【監事 2 名】 関口修、正村祐一
【事務局 2 名】 高野英樹事務局長、仲村篤志競技会事業部長
(理事現在数：13 名、定足数 7 名、本人出席 11 名)

4. 議事の経過及び結果

WEB 会議システムを用いて理事会を開催した。WEB 会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意見交換ができることを確認した。鳩山会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 82 回理事会議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案 会員の逝去について
以下の会員の逝去が報告された。
山田祥子（会員番号 102980）

第 3 号議案 公認クラブ申請について
以下の公認クラブ新規開設申請が承認された。
立川ブリッジクラブ（クラス 2、オープン）
マネージャー：岡本哲雄
ディレクター：岡本哲雄
開催日：不定期
会場：立川アイム 東京都立川市曙町 2-36-2
軽井沢公民館（8 月） 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢東 28-1

第 4 号議案 表彰規則の改正について
吉田理事より企画委員会の検討結果に基づき合計 MP7500 点の称号を新たに新設する件について以下の提案があった。
MP5,000 点と 10,000 点の間の MP7,500 点の称号を新たに新設することにより、MP 獲得のモチベーションの向上を図りたい。ACBL でも MP7,500 点の

称号は用意されている。会員更新中のプレイヤーで MP5,000 点から 7,500 点の間は 109 名、MP7,500 点から 10,000 点の間には 34 名、MP10,000 点以上は 36 名いる。MP7,500 点に到達した順番のナンバリングについては事務局で可能な限り追うこととする。称号を新設する場合はバッジを作成し、MP7,500 点から 10,000 点の間のプレイヤーには全員に送付、MP10,000 点以上のプレイヤーには希望者のみ送付を予定している。
検討の結果これを了承した。

第 5 号議案 ガバナンスコード 2022 年度自己公表について

寺本法人・管理部担当理事より 2022 年度ガバナンスコードの自己公表の文面案が提案された。それに加え、アスリート、コンプライアンスの両委員会を新たに設置することが提案された。検討の結果これを了承し、12 月理事会で両委員会のメンバーの決定を行う方針を確認した。

第 6 号議案 各委員会および事業部報告

1. 企画委員会

吉田企画委員長より 9 月 13 日および 10 月 12 日に行われた企画委員会について以下の報告があった。

感染者の状況については、9 月以降は感染者の報告数が激減し落ち着いてきている。

会員数の推移については、JCBL は長年に渡り概ね右肩上がりが増加し続け 2014 年度に約 7,800 人に達したあと、減少傾向が続いている。2019 年度末は約 7,500 人、2021 年度末は約 6,600 人となっている。最近の 2 年間の急激な減少はコロナの影響が大きいと思われる。ACBL の会員数のこの 2 年間の推移は 1 年あたり約 6%減少し、JCBL と同じような比率で減っている。

2. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より 2023 年 APBF 選手権の代表募集の状況について、オープン、ウィメン、シニアの各部門の日本代表選抜試合に以下の各 1 チームのエントリーがあった旨報告された。検討の結果、代表の承認を行った。

2023 年 APBF 選手権

オープン代表

奥野良、小原明、陳悦辰、陳大偉、古田一雄、李斌

ウィメン代表

大手瑠利、小久保睦恵、白銀もとみ、高崎恵、原澤沙依、宮部佳世子

シニア代表

井野正行、今倉正史、大政哲人、ロバートゲラー、前田尚志、山田和彦

3. 競技委員会

寺本競技委員長より第 279 回競技委員会について報告があった。

寺本競技委員長よりロバートゲラー氏（会員番号 101543）から国際試合の発行 MP の計算式の係数について、2018 年の競技委員会で決定したオープン 16、メン 16、ウィメン 14 からオープン 16、メン 14、ウィメン 14 へ変更する旨提案があったことが報告された。検討の結果、係数は現状維持とし規則に明確に記載する方向性を確認した。

4. 普及事業部

齋藤普及事業担当理事より 2022 年秋の首都圏センターの体験教室の参加人数および参加者の参加に至ったきっかけについて報告された。

5. 競技会事業部

山田競技会事業部担当理事より競技会事業部活動状況および資格取得者の報告があった。

山田競技会事業部担当理事より JCBL に最初に入会してから 50 年が経過した現在更新中のプレイヤーを表彰する制度の新設が提案された。12 月理事会に具体案を提出して検討を行うこととした。

6. 国際交流事業部

吉田国際交流事業担当理事より 10 月 19 日にジャカルタで開催された APBF 会議について以下の報告があった。

2023 年 APBF は香港での開催が内定している。2026 年アジアカップはインドでの開催が有力となっている。

7. 広報事業

柳澤広報担当理事よりプレスリリース、Facebook、および Twitter による広報活動について報告があった。

8. 法人・管理部

寺本法人・管理担当理事より 9 月末時点の比較財務諸表、月次収支実績、クラブ勘定残高について以下の報告があった。

月次収支については 9 月末時点の累計で約 4,000 万円の黒字であり順調に推移している。クラブ勘定の残高については問題がない。

第 7 号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2022 年 12 月 16 日（金）18 時 30 分よりオンラインにより開催する

2022 年 10 月 28 日

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 83 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 関口 修

正村 祐一

議事録作成者 寺本直志